

小国高校三綱領

1 尚志

志を高く持とう。志とは人として進むべき道である。
高校生として郷内におけるわれわれの地位を自覚して、
その風格を保持しよう。

2 勉学

学生の本分は、真理の探究であり、知性への憧憬である。
したがって、われらにとって、勉学は本質的であることを銘記
して互いに励まし合おう。

3 自主

自主自立は、行為の価値を決定する重要な尺度である。
われわれは自主的な正しい判断のもと、積極的に行動して
人格の完成を図ろう。

“生徒たちが笑顔で登校し、夢の実現が叶う学校”

校長：打越博臣



本校は、大正11年（1922年）設立の南小国村・北小国村組合立実科高等女学校が前身であり、幾多の変遷を経て、昭和26年（1951年）3月に熊本県立小国高等学校として独立しました。そして、令和4年（2022年）に創立100周年を迎えます。

これまでの卒業生は9,711人。小国郷の温かい人情が織りなす歴史文化と大自然の中で心豊かに育った卒業生たちは、三綱領「尚志」・「勉学」・「自主」の精神の下、志を高く（尚く）掲げ、いたむきな努力と挑戦を続けることで、それぞれの夢の実現を叶えてきました。

現在本校は、1年時の文系理系に偏らない基本的な学習を通して総合力を身に付けて選択肢を広げ、2年時からの専門的な学習に取り組むことで進路実現を図っています。また、運動部も文化部も心ゆくまで活動することができ、全国レベルでの活動もできます。更に、社会のリーダーとして活躍しうる心の教養と社会常識をしっかりと身に付けることができます。

高校3年間は自分の可能性を見出す大切な時間です。生徒一人一人の夢の実現に向けて、愛情と情熱をもって全力でサポートするのが本校の教育です。皆さんも、小国高で一緒に夢を育て、叶えませんか。

小国高校の一員として

生徒会長 齊藤 康寛



小国高校では、「尚志」「勉学」「自主」という三綱領をもとに、日々の学校生活を送っています。生徒数の少ない高校ですが、一人ひとりが勉学や部活動など様々なことに積極的に取り組んでいます。

まず、学習面においては生徒数が少ないため生徒一人ひとりに先生方の目が行き届いており、内容の濃い学習をすることが出来ます。そのため、進学・就職どちらにおいても100%達成という実績につながっています。

次に、部活動などにも多くの生徒が積極的に取り組んでいます。その中でも、ホッケー部は全国大会出場を果たすなど、数多くの結果を出しています。また、さらなる高みを目指し、それぞれの部活動が日々の練習を頑張っています。

最後に、小国高校では勉学や部活動だけでなく多くの学校行事があります。それらを通して、ここ小国高校は他の高校では出来ない経験をする事ができます。その経験は必ず自分の将来へとつながっていきます。

小国高校から夢への第一歩を踏み出しましょう。